



TGスタイルモジュージャック成端工具 (ピストル型)

部品番号：TGJT

MADE IN COSTA RICA

作業の前に：

TGJT工具はTGスタイルモジュージャック成端工具です。
この取扱説明書内で省略されているTGスタイルモジュージャックの配線工程に関する説明は、各コネクタの取り扱い説明書を合わせてご確認ください。

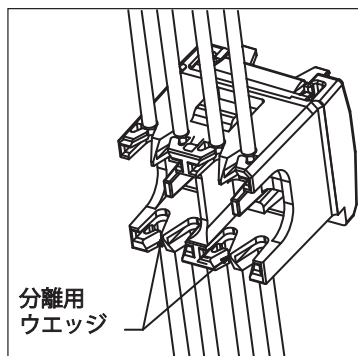


図1:

1. TGスタイルモジュージャックのワイヤーキャップにケーブルを適切な位置でセットします。ストレインリリーフを使用し、ケーブルをしっかりと固定します。各配線は分離用ウエッジを使用して、ウエッジ下のポケットに完全に収めてください。

注意:
配線用のケーブル余長を十分に確保しないとワイヤーキャップから配線が外れる原因になります。

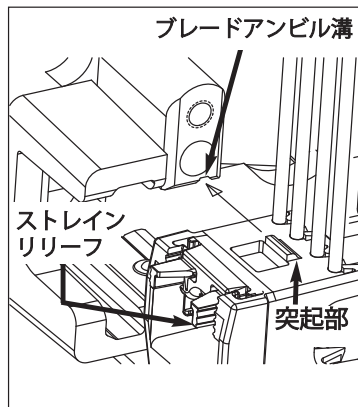
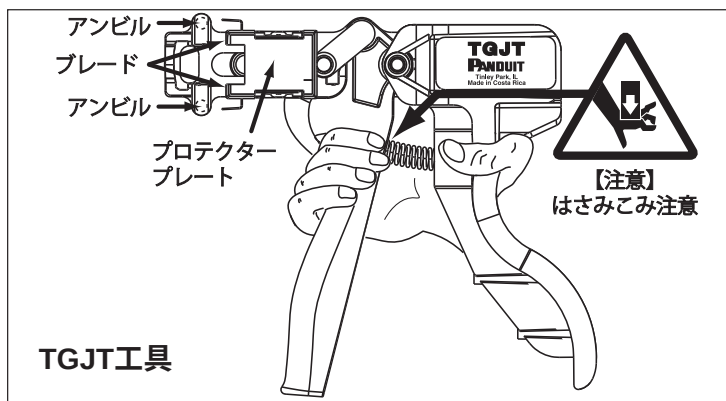


図2:

2. 前処理済みワイヤーキャップをTGJT工具のワイヤーカット面へセットします。ワイヤーキャップの配線は全て両脇に配置され、カットできる状態にあることを確認してください。(図1参照) ワイヤーキャップの突起部は上向きにし、ブレードアンビル溝に合うようにセットします。



TGJT工具

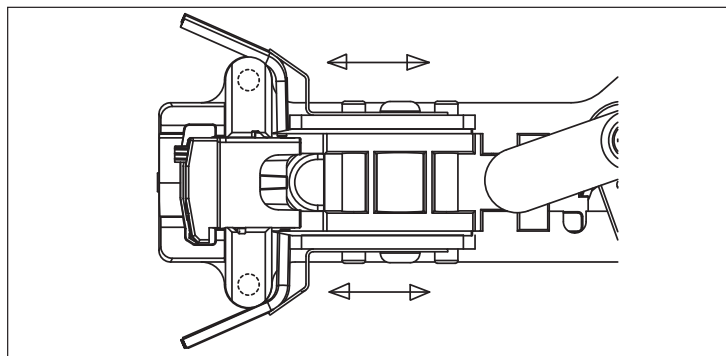


図3:

3. ハンドルを握りこむと、ワイヤーキャップの固定位置が移動し、ブレードにより各配線がワイヤーキャップの折り曲げ面とほぼ面一に切断されます。
4. ハンドルを握りこんだ状態のまま、ワイヤーキャップを工具から取り出します。余分な配線が残っていないか確認します。

注意:
配線の切断工程で、余分な配線が残ってしまった場合は、ワイヤーキャップを外した後にブレードが真っ直ぐであるかどうか確認してください。ブレードに傷が確認されたり、問題が見受けられる場合は交換用ブレード（別売品）に交換してください。

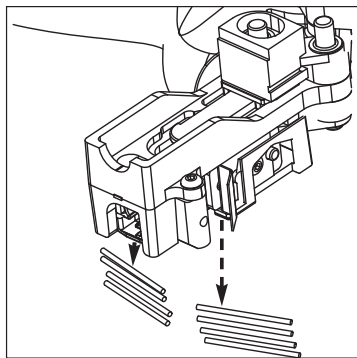


図4:

5. ハンドルを握りこんだまま、工具の向きを反対にすると不要な配線が廃棄できます。

注意：
不要な配線が工具に残ってしまう場合は、工具が空になった状態でワイヤーリテイナーがブレードアンビルに接触する状態であるかどうか確認してください。
このとき、ワイヤーリテイナーが接触していない場合は、軽く内側へ曲げると状態が改善される場合があります。

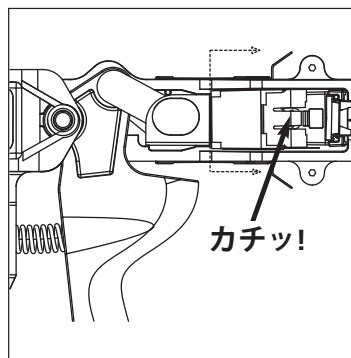


図7:

9. ハンドルをしっかりと握りこむと、モジュージャック本体にワイヤーキャップが組み込まれ、カチッとスナップ音が聞こえます。
10. ハンドルの動作部をはずし、完成したモジュージャックを工具から取り出します。

注意：
誤ったコネクタタイプ（シャッターあり/なし）の回転ノブ設定で作業を行うと、次のいずれかの状態になる可能性があります。

- 1) モジュージャックにワイヤーキャップがしっかりと組み込まれない（施工不良）
- 2) 工具のジャック固定部もしくはモジュージャックのシャッター部分の破損

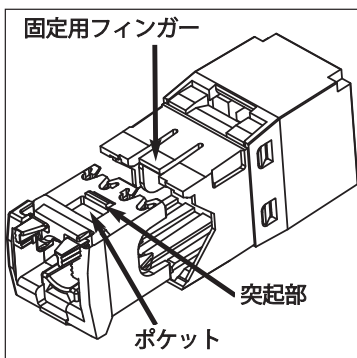


図5:

6. 工具から外したワイヤーキャップをモジュージャック本体へ組み付けます。
7. 6.で組み付けたワイヤーキャップ及びモジュージャック本体を、TGJT工具のジャック成端面(ワイヤーカット面の反対側)へセットします。

注意：
モジュージャック本体の固定用フィンガーとワイヤーキャップのポケットおよび突起部が合わさるよう方向に注意して組み付けます。

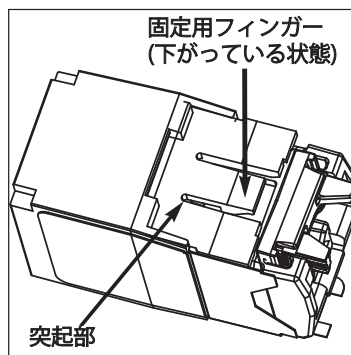


図8:

11. モジュージャック本体にワイヤーキャップがしっかりと組み込まれ、モジュージャック本体のフィンガーがしっかり下がっているかどうか目視検査してください。

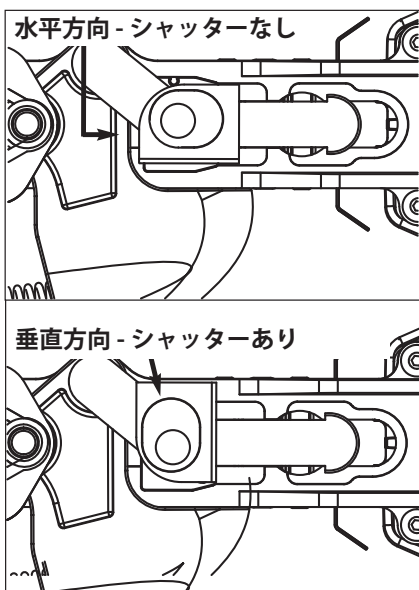


図6:

8. モジュージャックのシャッターあり/なしに合わせて、工具の回転ノブをセットします。
シャッターなしの場合は回転ノブの向きは、水平方向(工具本体と平行方向)、シャッターありの場合は回転ノブの向きは、垂直方向となります。

交換用部品(別売品)

プロテクタープレートキット	: KTGJTGRD
交換用ブレード	: KTGJTBLD
ブレード及びアンビル交換用キット	: KTGJTBNA